三重県立熊野古道センター
The Letter from Mie Prefectural Kumano Kodo Center　からのてがみ

2023 No.68 秋

本町の道標（紀北町）

口有馬道標

横垣地蔵

企画展

伊勢路の石仏と道標

会期 2023 9/2（土）～10/15（日）

熊野古道伊勢路を歩くと、石仏や道標、巡礼供養碑、庚申塔など様々な石造物に出会います。戦国時代に建立された八鬼山の町石や岩屋堂の石仏、江戸時代に西国巡礼の巡礼者などを案内するために建てられた道標など、これらの石造物は地域の人々が守り伝えてきたものであり、伊勢路の歴史・文化を目に見える形で体感できるものでもあります。本展では伊勢路沿いにある石造物のうち、石仏と道標に焦点を当てて、地域に残る多様な石造物の一端をご紹介します。

八鬼山町石29

千手観音（岩屋堂）

松本峠の地蔵

Guide & Tips

くまの自然歳時記 Vol.6

夜行性の野草 ―カラスウリ―

カラスウリの果実

カラスウリの花

秋も深まる頃、道路脇や人里近くを歩くと脇のやぶにひときわ鮮やかな朱色の実を見かけることはないだろうか。それもひとつではなく数個から数十個という大量にぶらさがっているのを。

これはウリ科の野草で和名をカラスウリ（*Trichosanthes cucumeroides*）といい、木などにからみついて伸びるつる植物だ。卵型をした果実はいかにもおいしそうであるが、苦くて食べられたものではない。好んで食べるのは野鳥で、カマキリの頭に似た種子が二十数個詰まっており、果肉と一緒に食べられる。

ところで読者の方はこの8月から9月にかけて咲くカラスウリの花を見たことがあるだろうか。おそらく見たという人は少ないのではないか。それもそのはず、日が沈む夕方から一斉に開花し、夜にかけて咲くのだ。そして朝を迎える頃にはしぼんでしまう。わざわざ夜に花が咲くのには理由がある。夜に活動する昆虫に花粉を運んでもらうためだ。その花粉を運ぶ役目を果たすのが蛾だ。それもホウジャク（*Macroglossum stellatarum*）やオオスカシバ（*Cephonodes hylas hylas Linnaeus*）といったスズメガの仲間が媒介する。花の姿にも特徴がある。白い糸を周囲に広げたレース状の花を咲かせる。'妖艶'といっても過言ではない。レースのドレスをまとったようだ。

夜に花を咲かせる野草は他にもある。名前が示す通りのヨルガオやマツヨイグサだ。これらはアメリカ原産で、帰化植物である。

漆黒の夜を鮮やかに演出してくれるこれらの野草。闇の中に幻想的な色を浮かび上がらせ、ロマンティックなムードを創りあげる。演出をさらに盛り上げるのがスズメガだ。ホバリングしながら吸蜜する姿は、さながら白馬の王子だ。私たちの身近な自然界では、気づかないたくさんのドラマが展開している。ほんの少し見方を変えるだけで、新たな自然が見えてくる。

ひとりごと 川端 守の

NO.13 愚庵（ぐあん）「巡礼日記」を歩く（その5）

月が改って10月1日。長島の漁師たちの執拗な勧誘をふりきって、愚庵は歩き出す。順礼の大事は一歩一歩と苦労して歩きつづけることである。一石峠から始神峠まで幾つかの峠道を苦労して歩いたはずなのに、叙述はない。筆は一気に馬越峠に進む。「孫背坂の新道、なだらかなれども余りに迂りなりと聞けば、故道をゆく、上り十八町、下りも十八町、いと険し、やうやく尾鷲に宿る。けふは六里折々雨ふる。」

孫背の標記は時々見るが、仲々味わい深い。新道とは、現在の猪の鼻水平道のことである。故道とは現在の馬越峠道のこと。

故道を江戸道、新道を明治道というが、この言い方は、世界遺産登録の前後から言い出したこと、仲々のネーミングであったと感心する。

猪の鼻水平道は明治19年着工、明治21年春に竣工しており、愚庵の旅は明治26年の秋のことなので、愚庵のやって来た頃には、熊野東街道は、江戸道と明治道の併存の時代になっている。明治道は車馬の通行できる道として竣工しているので、比較的平坦で幅の広い道として整備された。「なだらかなれども余りに迂りなり」との愚庵の感想は当時の旅人としては一般的なものであろう。

車を利用しない歩きの旅人としては、明治道を避けて江戸道を行くのが普通だったに違いない。

10月1日の夕方、愚庵は尾鷲の街に着いた。宿の名は、ここでも記さない。

現在の中井町

お知らせ

企画展、イベント情報、センター周辺のちょっとした話題など、随時更新しています。ぜひご覧ください。

三重県立熊野古道センター公式チャンネル YouTube　YouTube動画公開中!
講演会やイベントの動画をアップロードしています。ぜひチャンネル登録お願いします。

公式 X（旧Twitter） インスタグラム 随時配信中!

センター敷地内『夢古道おわせ』

ぜひお立ち寄りください!

海鮮レストラン イサバヤ

尾鷲を一望できる海鮮レストランで、新鮮な魚介類を使った海鮮丼やステーキなど、漁師直営のお料理をお楽しみいただけます。

営業時間　午前11時～午後2時（オーダーストップ）

「イサバヤ」に関するお問い合わせは TEL 0597-23-0877

みえ尾鷲海洋深層水 夢古道の湯

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

営業時間　午前10時～午後9時30分（入館受付:午後9時まで）

『夢古道おわせ』に関するお問い合わせは TEL 0597-22-1124

お車でお越しの方は…

尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。（尾鷲北ICから約10分）
※尾鷲南ICからは約8分

電車でお越しの方は…

JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停（徒歩1分）、または三重交通「尾鷲駅口」バス停（徒歩5分）乗車→「熊野古道センター前」下車

熊野古道センターからのてがみ 2023年 秋号

- 発行日:2023年9月10日（季刊）
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター（三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク）
- 編集担当:亀田
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
  TEL 0597-25-2666
  FAX 0597-25-2667
  Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日（その他メンテナンス時休館）

熊野古道センター 検索

ホームページ
https://kumanokodocenter.com
60000230910YK

旬の企画展

企画展　わが郷土のお祭り

尾呂志と尾呂志神社例大祭

2023 10/28(土)▸12/10(日)

●会期中無休

時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 企画展示室

御浜町尾呂志地区のなりたちと尾呂志神社のお祭りを紹介します。

尾呂志神社

尾呂志神社の代理宮司で大馬神社宮司の山東美晴氏の講演会を開催します。宮司による舞も披露していただく予定です。

付属講演会

女性神主として～楽しい神社の話～

2023 12/9(土)

時間 午後1時30分～3時
参加料 無料
定員 60名（要申込・先着順）
場所 交流棟大ホール
講師 山東美晴氏（大馬神社宮司・尾呂志神社代理宮司）
受付 11月3日（金・祝）～12月8日（金）午後5時まで

特別展示室企画展

熊野古道センター水彩画教室作品展

2023 11/11(土)▸2024 1/14(日)

●休館日12月31日、1月1日

時間 午前10時～午後5時
入場料 無料
場所 特別展示室

那智勝浦町在住の画家、三隅俊昭氏を講師に迎えて開催した水彩画教室参加者の作品展を開催します。熊野古道や東紀州の四季の風景を描いた作品を通して、地域の魅力を発信します。

企画展

伊勢路の石仏と道標

2023 9/2(土)▸10/15(日)

●会期中無休

時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 企画展示室

熊野古道伊勢路を歩く際に目にする石仏や道標について紹介します。

八鬼山 町石

ロビー展

望郷 ―潮騒が奏でる尾鷲の浦村―

2023 10/14(土)▸12/24(日)

●会期中無休

時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 展示棟ホール

尾鷲の沿岸地に点在する「元盛松（もとさがりまつ）」「頼母（たのも）」「元行野（もとゆくの）」「元須賀利（もとすがり）」各浦村について、歴史や風俗を文献・史料から紐解くとともに、住居跡や田畑跡、しし垣などの遺構を写真や動画で紹介します。

元行野の住居跡

体験学習

東紀州の四季を味わう料理教室

東紀州の美味しい食材や特産品を使って、季節のレシピと調理法を学ぶ料理教室を開催します。

2023 10/29(日) 紀和牛を味わう

やわらかい肉質で赤身が人気の肉牛「紀和牛」と旬の野菜を美味しくいただくレシピを紹介します。

受付 9月22日（金）～10月22日（日）午後5時まで

2023 12/10(日) 尾鷲のさかなブリ

尾鷲を代表する市の魚「ブリ」を使って基本の和食からオリジナルレシピまで幅広く紹介します。

受付 11月3日（金・祝）～12月3日（日）午後5時まで

時間 午後1時～3時
参加料 2,000円
定員 20名（要申込・応募多数の場合抽選）
場所 体験学習室
講師 西岡宏起氏（相可高校食物調理科教諭）、相可高校調理クラブの皆さん

スタッフコラム

夏休み期間中、熊野古道センターでは「夏の風物詩　オリジナルうちわを作ろう！」を開催しました。無地のうちわに絵を描いたり、マスキングテープや折り紙を貼ったりして、沢山の方が素敵なうちわを作ってくれました♪どれも力作で、我々スタッフも見ていて楽しかったです。

夏休みイベント

夏休みにうちわ作りを開催しました！

期間中、熊野古道センターのSNSでは、体験の様子や皆様のうちわの写真を紹介させていただきました！ご参加いただいた皆様、ありがとうございました♪

交流イベント

向井かかしづくりコンテストを開催しました！

同コンテストは、2015年の第8回を最後に、なんと8年ぶりの開催！本年も尾鷲市と農事生産塾「向井の里」のご協力の下で開催しました。かかしの材料として、尾鷲市からは沢山の古着と木材をご提供いただきました。「向井の里」からはマネキンの頭部を当日にサプライズプレゼントして頂きました。当日も朝から30度を超える暑さの中、4組の親子連れが参加。「向井の里」の皆様のご指導の下、予定時間よりも早く完成することが出来ました。完成したかかしは参加者による4体の他、尾鷲市と熊野古道センター職員による3体、計7体。当センターに隣接する水田脇に設置しました。尚、今回は参加者数が贈賞数を満たすことが出来なかったために、参加者全員に8月末に収穫したばかりの新米（2kg）をプレゼントしました。

新型コロナウイルスの感染状況により、内容は変更になる場合がございます。
●詳細はホームページでお知らせします。

お申込み・お問い合わせは、お電話か直接 熊野古道センターへどうぞ！ TEL.0597-25-2666

イベント情報

連続講座

山歩きステップアップ講座

昨年の様子

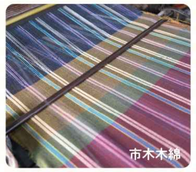
山歩きの基本ができており、アップダウンの繰り返しにも耐えられる歩行技術を習得したい方、山中での予期せぬケガへの対処法などを学びたい方を対象とした山歩き講座を開催します。

2023 10/21(土) 22(日) ●少雨実施

時間 21日:午前9時～午後3時　22日:午前8時～午後2時
参加料 1,000円（保険料・資料代）
定員 15名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 今年度までの山歩き講座初級編またはステップアップ講座を受講済の方
場所 第1回:熊野少年自然の家、長尾山　第2回:大配（オハイ）・頂山
講師 宮本秀男（熊野古道センター センター長、日本スポーツ協会山岳コーチ2）
受付 10月7日（土）午後5時まで

新熊野学講座

市木木綿～伝統を守る活動を通して～


市木木綿

明治時代、七里御浜沿いの純農村であった市木村（現御浜町下市木）で生まれた市木木綿。本講座では、現在唯一の市木木綿生産者である向井浩高氏を迎え、市木木綿の歴史や、伝統を守る取り組みについてお話をいただきます。

2023 12/17(日)

時間 午後1時30分～3時30分
参加料 無料
定員 80名（要申込・先着順）
場所 映像ホール
講師 向井浩高氏（向井ふとん店3代目）
受付 11月11日（土）～12月16日（土）午後5時まで

知られざる熊野探訪ツアー

海跡湖を訪ねて 晩秋の諏訪池へ

諏訪池

一石峠道から尾根道をたどり紀北町海野地区の海跡湖「諏訪池」を訪ねるツアーを開催します。尾根道からは江ノ浦や海野の町並み、諏訪池の前に広がる海岸からは多田ヶ瀬や大島などの眺望をお楽しみいただけます。

2023 11/25(土) ●雨天の場合11月26日（日）

時間 午前9時30分～午後3時30分（受付:午前9時～）
参加料 500円（保険料、資料代）
定員 15名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 健脚者（歩行距離約7.5km）
場所 紀北町海野（集合場所:旧紀伊長島総合支所駐車場）
案内人 高須清教氏（熊野古道語り部友の会会員）
受付 10月11日（水）～11月11日（土）午後5時まで

熊野古道自然学校

秋の自然を楽しもう! 紀伊半島の小動物観察会

観察会の様子

紀伊半島に生息する小動物の生態を学ぶ観察会を行います。三重県文化財保護指導委員の清水善吉氏を講師に迎え、オオダイガハラサンショウウオや、トンネル内に住むコウモリの仲間などを観察し、その生態を学びます。

2023 11/11(土) ●雨天の場合11月12日（日）

時間 午前9時～正午
参加料 500円（保険料・資料代）
定員 15名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 小学生以上（小学生は保護者同伴）
場所 矢ノ川峠（旧国道）
講師 清水善吉氏（三重県文化財保護指導委員）
受付 10月1日（日）～11月4日（土）午後5時まで

講座・講演

西行 和歌の熊野

「西行法師行状絵巻」より（センチュリー赤尾コレクション）

旅する歌僧西行法師。百人一首でお馴染みの歌人は、熊野古道伊勢路を辿った一人でもありました。西行学第一人者である西澤美仁氏にお話しいただきます。

2023 11/26(日)

時間 午後1時30分～3時
参加料 無料
定員 60名（要申込・先着順）
場所 映像ホール
講師 西澤美仁氏（上智大学文学部国文学科名誉教授）
受付 10月25日（水）～11月25日（土）午後5時まで

体験学習

ひのきアート教室 ～お正月飾りづくり 辰年～

過去の作品

尾鷲ひのきを使用し、玄関や部屋に飾る干支（辰年）にちなんだお正月飾りを作ります。

2023 12/2(土)

時間 午前10時～正午
参加料 1,000円（材料費）
定員 10名（要申込・応募多数の場合抽選）
場所 体験学習室
講師 池田比早子氏（NPO法人海虹路）
受付 10月25日（水）～11月25日（土）午後5時まで

知られざる熊野探訪ツアー

桐原から矢ノ川へ 筏師の道をたどる

矢ノ川の石畳道

北山川・熊野川流域で行われた木材の輸送『筏流し』。そこで活躍したのが筏師たちです。仕事を終えた筏師が、櫂をかついで家族が待つ家へと帰っていった道をご案内します。

2023 10/14(土) ●雨天の場合10月15日（日）

時間 午前9時～午後3時（受付:午前8時30分～）
参加料 500円（保険料・資料代）
定員 20名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 健脚者（歩行距離約7km）
場所 紀宝町桐原及び、御浜町片川～紀和町矢ノ川（集合場所:矢ノ川バス停横駐車場）
案内人 清水鎮一氏（熊野古道語り部友の会幹事）
受付 9月30日（土）午後5時まで

知られざる熊野探訪ツアー

近代の遺跡探検 元盛松（もとさがりまつ）を訪ねる

元盛松 共同井戸跡

昭和の初めに全戸移住した元盛松の集落跡を訪ねます。長い年月が過ぎ、現在は遺跡となった場所を探検してみませんか。

2023 12/16(土) ●雨天の場合12月23日（土）

時間 午前9時～午後3時（受付:午前8時30分～）
参加料 500円（保険料・資料代）
定員 20名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 健脚者（歩行距離約5km）
場所 尾鷲市三木浦～元盛松（集合場所:三木浦漁港最奥の駐車場）
案内人 弓削猛氏（三木浦ゲストハウスオーナー）
受付 11月2日（木）～12月2日（土）午後5時まで

熊野古道自然学校

旅するチョウ アサギマダラ

アサギマダラのマーキング

旅する蝶として知られるアサギマダラ、実はその生態は謎に満ちています。観察し、捕獲し、羽にマーキングする調査に参加し、謎に迫りましょう。

2023 10/29(日) ●雨天の場合中止

時間 午前9時30分～11時30分
参加料 500円（保険料・資料代）
定員 15名（要申込・応募多数の場合抽選）
対象 小学生以上（小学生は保護者同伴）
場所 三重県立熊野少年自然の家
講師 橋本博（熊野古道センター副センター長）
受付 9月15日（金）～10月15日（日）午後5時まで

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

お問合せ先 和歌山県世界遺産センター
住所 和歌山県田辺市本宮町本宮100－1
TEL 0735-42-1044
FAX 0735-42-1560
E-mail e0624002@pref.wakayama.lg.jp

まだまだ夏のような暑さが続いております。皆様、夏のお疲れは出ておられませんか。
10月に世界遺産登録20周年プレイベントといたしまして、世界遺産セミナーを2回開催致します。「紀伊山地の霊場と参詣道」について理解を深める機会となっています。
1回目は、10月1日（日）に伊都郡かつらぎ町の「天野地域交流センターゆずり葉」で13時から、
2回目は、10月29日（日）に田辺市本宮町の「世界遺産熊野本宮館」で13時から行います。
また、12月9日（土）には世界遺産を有する地域の児童・生徒が共に学び考える機会とするため、「世界遺産学習サミットinたなべ」が田辺市の紀南文化会館にて開催されます。
語り部ジュニアの実践発表や記念講演等が予定されています。

令和5年6月上旬～8月下旬までの道普請参加団体（敬称略）
ENEOS株式会社、ダイキン工業労働組合、追手門学院大学
参加費は無料　●諸般の事情により、延期または中止、日程及び内容を変更する場合があります。

詳しくは当センターのウェブサイト https://www.sekaiisan-wakayama.jp をご覧ください。
またご不明な点があれば当センターへお問い合わせください。

世界遺産セミナーの様子